

私立大学図書館協会 研修分科会  
第6回 レファレンス研修

## 「レファレンスによる現場力アップ」

大学図書館支援機構(IAAL)

寺尾 隆<sub>1</sub>

## 推薦図書

図書館の現場力を育てる  
人と情報を結ぶWEプロデュース・LMゼミ出版プロ  
ジェクト編 尼川洋子, 石川敬史共著  
樹村房, 2014

ISBN:9784872295



2

## 推薦図書

図書館員のためのPR実践講座  
仁上幸治著 樹村房, 2014  
ISBN:9784883672394



3

レファレンスサービスとは

利用者の「知りたい」  
という気持ちに  
寄り添い、  
支援をするサービス

4

レファレンスは  
館内の様々なところで  
発生している

5

レファレンス調査は  
知らなかったことに出会い  
スキルアップできる  
チャンス

6

レファレンス情報から  
利用者のニーズが見える  
↓  
各業務に活かすことができる

7

学習支援とレファレンス

レファレンスの力は  
学習支援に  
不可欠なスキル

8

レファレンスサービスは

個人プレーでなく、  
チームプレーで  
提供すべきサービス

9

レファレンス・ガイドライン

レファレンスサービスの  
提供内容・範囲を定める

参考:

「参考事務規程」日本図書館協会 1961年

レファレンスサービスに関する規程類について

[http://www.library.metro.tokyo.jp/Portals/0/15/pdf/r05\\_chap1-2.pdf](http://www.library.metro.tokyo.jp/Portals/0/15/pdf/r05_chap1-2.pdf)

10

レファレンス情報の共有

- レファレンス記録の作成と共有
- 担当者を中心にそれぞれの立場で協働
- 互いに教え合い、学び合う関係をつくる
- レファレンス協同データベースの活用

11

レファレンス協同データベース事業  
<http://crd.ndl.go.jp/>



協会図書館を中心とするプロジェクト

参加対象:

学校、公共、大学、専門図書館

データベース:

レファレンス事例

調べ方マニュアル (パスファインダー)

特別コレクション

インターネットを通じて公開

12

## レファレンス調査に役立つウェブサイト

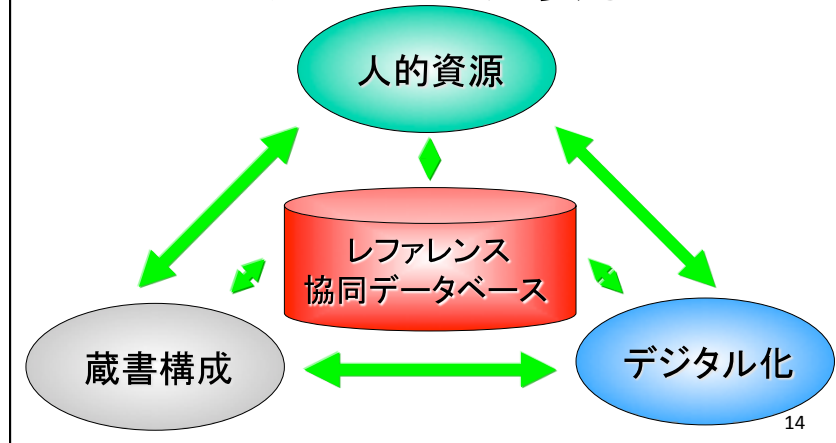
レファレンス協同データベース事業  
Collaborative Reference Database Project

ウェブページ詳細

案件名	近畿大学中央図書館 (20110032)	管理番号	FUCL0039
開始/完了日	2011年10月21日	登録日時	2011年10月21日 19時32分
公開レベル	一般公開	最終更新日時	2012年03月07日 16時15分
調査テーマ	レファレンス調査に役立つウェブサイト		
調べ方	<p>これまでレファレンス調査を助けていたウェブサイトを紹介いたします。</p> <p>リサーチナビ 国立国会図書館 <a href="http://www.nic.nic.go.jp/">http://www.nic.nic.go.jp/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>図書・雑誌検索ページ <a href="http://www.info.nds.ac.jp/">http://www.info.nds.ac.jp/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>Google <a href="http://www.google.co.jp/">http://www.google.co.jp/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>国立国会図書館サーチ <a href="http://search.ndl.go.jp/">http://search.ndl.go.jp/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>NDL-OPAC 国立国会図書館 <a href="http://ndlapac.ndl.go.jp/">http://ndlapac.ndl.go.jp/</a> (2012/09/29確認)</p> <p>近代デジタルライブラリー 国立国会図書館 <a href="http://ndl.go.jp/">http://ndl.go.jp/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>古典籍総合データベース 早稲田大学図書館 <a href="http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenishi/">http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenishi/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>全国漢字データベース <a href="http://www.kanji.siriban-kyoto-u.ac.jp/kansaji/">http://www.kanji.siriban-kyoto-u.ac.jp/kansaji/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>漢籍電子文献資料庫 <a href="http://lib.ihp.sinica.edu.tw/">http://lib.ihp.sinica.edu.tw/</a> (2011/10/21確認)</p> <p>漢籍電子文庫 <a href="http://hanj.sinica.edu.tw/">http://hanj.sinica.edu.tw/</a> (2011/10/21確認)</p>		

13

## レファレンスに必要な力

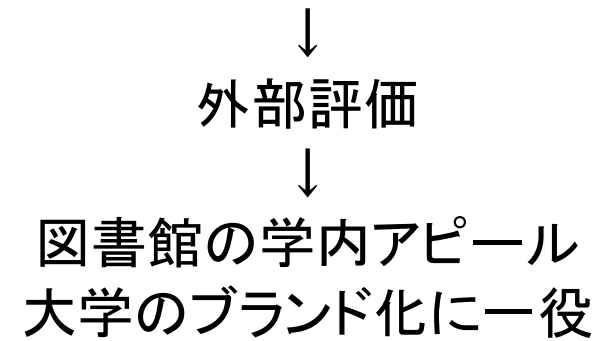


## レファ協が持つ機能

- ローカルデータベース
- エキスパートシステム
- 図書館員研修システム
- 司書課程教育システム
- 調べ学習・情報教育教材

15

## レファ協による情報発信



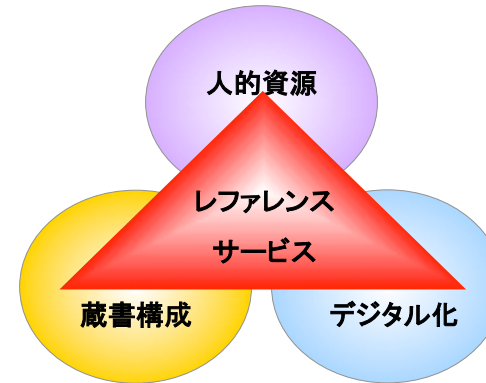
## レファ協に参加するには



<http://crd.ndl.go.jp/jp/library/entry.html>

17

## レファレンスをコア・コンピタンスに



「コア・コンピタンスとは他社には提供できないような利益を顧客にもたらしことのできる、企業内部に秘められた独自のスキルや技術の集合体」

ゲイリー・ハメル &  
C・K・プラハラード  
『コア・コンピタンス経営』  
(日経ビジネス文庫)